

道路交通



山吹 富邦議員

熊野トンネルの無料化に伴う渋滞対策は

〈町長〉

無料化後の交通量を予測したうえで、必要な対策が順次進められている。

【Q1】
無料化まで3か月と
なった現在の対策状況
は。

【A1】

熊野トンネルは、12月6日から無料化される。無料化後に交通集中が予想され、ボトルネックとなる交差点の対策を行う。予想される渋滞要因に対して、右左折レーンの追加などの改良工事を実施する。

具体的には、熊野から海田大橋方面へのオンランプ整備は、既に完了している。海田大橋入口交差点では、8月にレーン増設工事の契約が行われ、準備を進めている。

次に、平谷交差点では、7月にレーン増設工事の契約が行われ、間もなく工事を実施する。併せて、交差点の信号制御の調整等も実施する。

【Q2】
無料化後の対応はどのように考えているか。

【A2】

無料化後の状況を見て、必要であれば追加の対策を検討していく。

【Q3】
将来的に渋滞が緩和されないと定住・交流人口の減少につながるのではないか。

【A3】

渋滞対策は重要な課題であり、解消に向けて引き続き対策を行っていく。



▲海田オンランプの整備状況



荒瀧 穂積議員

広島熊野トンネル料金を財源に沿線整備を

〈町長〉

大多数の町民は無料化を望んでいる。



▲県道矢野安浦線整備状況

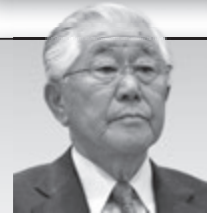
【Q1】

今からは、規制緩和と縦割り行政を変えるときである。想定される東南海地震や水害に広島市、海田町など地域としてビジョンを持つことが求められる。広島熊野道路料金は、100円で年間4、5億円見込める。それを活用し第2トンネル、県道矢野安浦線の整備に活用できないか。

【A1】

広島熊野道路は有料道路事業として借入金を全額償還したのちに無料開放するものであり、収支状況を踏まえて12月6日から無料となる。地域懇談会などでも町民の大多数が無料化に賛成される。県には、新県道延伸を要望するのが現実的と考える。

産業観光
まちの魅力



中島 数宜議員

町の活性化と賑わいづくりに
向けた取り組みは

〈町長〉

大型商業施設等の新設に伴い、先方の意向も踏まえ、連携と活性化を進める。

【Q1】
渋滞解消に向けて、どのような対策を考えているか。

【A1】

町内において交通が集中する県道の交通分散のため、バイパス整備が必要である。また、主要な交差点のボトルネックの解消として、交差点改良も必要である。広島県道路整備計画2016に基づき、引き続き早期整備の促進を図る。

【Q2】

渋滞対策として、道路に依存しない新しい交通手段の検討も必要では。

【A2】

現状として、軌道系交通機関のない本町では、県道が動脈となっている。まずは、実施中の県

道矢野安浦線や瀬野貝線のバイパス整備等に注力する。

【Q3】

新たな交通手段の導入により、利便性向上や定住・交流人口増加につながる。
周辺市と共同で、スカイレールみどり坂のような交通システムを検討できないか。

【A3】

公共交通に求められる機能は、まちづくりと共に明らかになってくると考える。
将来的には、社会情勢を踏まえた総合的な検討が必要であると考



▲広島熊野道路・平谷交差点付近

【Q1】

トモ・ピオパーク、サッカー場、ショッピングセンターが相次いで建設されている。民間との連携による町の賑わいと、活性化を進める考えは。

【A1】

これらの施設のオープンは、本町の生活の利便性や魅力の向上に寄与するものと大いに期待している。先方の意向を踏まえ、町の賑わい、活性化に向けた取り組みを推進する。

【Q2】

中溝の街並みは昔ながらのたたずまいをのこしている。仮称「中溝昭和通り」を賑わう街に復活させてはどうか。

【A2】

来町者を筆の里工房周辺に導くルートとして観光素材になりうる

可能性を秘めており、地域の皆様のご理解と協働により、活性化に向けて取り組む。

【Q3】

町内には茅葺古民家が多く残っている。町が変われるこのチャンスを見逃さず、再生・保護に取り組むべきでは。

【A3】

再生・保護は文化的な観点から重要である。所有者のご理解を頂きながら、町としてどのように扱っていくのか調査・研究する必要がある。

【Q4】

サッカー場、ハローズを一時避難場所として利用できないか。

【A4】

どちらの施設についても協定の締結が可能となるよう事務を進めていく。